

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	20分	當間 盛夫(そうぞう)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 平成26年度沖縄振興関連税制改正について</p> <p>(1) 産業集積経済金融活性化特区について伺う。</p> <p>2 国際的観光立県としての那覇空港施設等整備拡張について</p> <p>(1) 既存の航空機整備基地への対応について伺う。</p> <p>(2) LCC格安航空機専用ターミナル設置について伺う。</p> <p>(3) 自衛隊側への拡張について伺う。</p> <p>3 駐留軍用地跡地利用としてのユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)テーマパークの誘致について伺う。</p> <p>4 泡盛域外出荷拡大支援事業について</p> <p>(1) 泡盛の県外出荷状況を伺う。</p> <p>(2) 泡盛の消費拡大に貢献する「泡盛マイスター協会」への支援について伺う。</p> <p>5 公共事業の発注について</p> <p>(1) 土木建築部・農林水産部の公共事業等施行状況を伺う。</p> <p>(2) 「入札不調」の状況と解消について伺う。</p> <p>(3) 人手不足の対策について伺う。</p> <p>6 農連市場地区防災街区整備事業について</p> <p>(1) 組合設立・事業計画認可申請がおこなわれている理由を伺う。</p> <p>(2) 県管財課と那覇市の協議の状況を伺う。</p> <p>(3) A-2、A-5街区基本設計の状況を伺う。</p> <p>7 特定地域特別振興事業(旧軍用地問題)について</p> <p>(1) 今年度までの特例としての事業であるが今後の展開を伺う。</p> <p>(2) 那覇市複合施設事業は特定地域の再構築になると考えるか伺う。</p> <p>8 農地中間管理機構事業について</p> <p>(1) 事業はどこが担うのか、また、どのような整備と活動をするのか伺う。</p> <p>(2) 農業委員会の必要性を伺う。</p> <p>9 建築物の解体等のアスベスト防止対策について</p> <p>(1) 県内の公共、民間の石綿含有建築物等の状況を伺う。</p> <p>(2) 県のアスベスト防止対策マニュアルについて伺う。</p> <p>(3) 県アスベスト対策連絡協議会の活動状況を伺う。</p>			

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	20分	儀間 光秀(そうぞう)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 漁業再生支援事業について (1) 現状について伺う。 (2) 漁場の生産力向上のサメ駆除について伺う。</p> <p>2 在宅医療にかかわる駐車許可申請手続について (1) 医療関係従事者に対する駐車許可への対応について伺う。</p> <p>3 地域公共交通総合連携計画について (1) 国道58号の渋滞対策について伺う。 (2) 県警察が問題としている事項について伺う。</p> <p>4 大型MICE施設について (1) 進捗状況について伺う。</p> <p>5 県道浦添西原線について (1) 進捗状況について伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	呉屋 宏(そうぞう)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 一括交付金のあり方について (1) 市町村の一括交付金は理想的になっているか。</p> <p>2 米軍基地返還について (1) 西普天間の返還跡地について ア 不発弾処理やアスベストの撤去についての危険除去についての県の認識について伺う。 イ 宜野湾市のまちづくりと西普天間の関係について ウ 重粒子線治療や新薬拠点の西普天間への設置可能性について エ 普天間高校の移設(西普天間へ)について</p> <p>3 沖縄県の農産物の県外への出荷状況について (1) 一括交付金での農産物出荷支援と効果について (2) 植物工場の現状について伺う。 (3) 植物工場とその限界について伺う。</p> <p>4 下地島空港の利活用について (1) 下地島空港の現状について伺う。 (2) 今後はどのような考えがあるか伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	20分	新垣 安弘(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 安全保障と基地問題について</p> <p>(1) 普天間飛行場の移設問題やオスプレイ配備問題で、「構造的沖縄差別」ということが語られることが多くなってきた。また、ある調査によると、沖縄が独立することについて考えたことがあると答えた学生が36%に上ったとのことである。これらのことについての知事の所見を伺う。</p> <p>(2) 日中の冷戦状態といっても過言でないような状況の中で、政府は先島諸島への防衛力を強化する方針だが、限定的であれ尖閣をめぐる紛争が勃発した場合、先島諸島が巻き込まれる危険性が懸念されるが、この問題に対する県としての認識を伺う。</p> <p>(3) 下地島空港について、宮古島市長は、防災訓練の拠点としての活用を求めている。そのための自衛隊の活用も容認するとの意向だと思いが、その計画を西太平洋の防災拠点計画として本格的に検討してはどうか。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 県内の中高一貫の私立中学校と公立中学校の学費の比較を伺う。</p> <p>(2) いわゆる難関大学への進学割合は、県勢が同規模の県と比べてどうか。</p> <p>(3) 県立の進学校を中高一貫校としてさらにレベルアップを図るべきではないか。先行して開邦高校から取り組んでみてはどうか。</p> <p>(4) 教科外の総合学習によって、教科の授業時間(年間授業時数)にどの程度影響が出ているか。</p> <p>(5) 土曜授業を隔週で導入すると仮定した場合、どのようなことが課題となるか。</p> <p>3 再生可能エネルギーの普及について</p> <p>(1) 海洋温度差発電実証実験の現状と今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 沖縄科学技術大学院大学で行われている「直流型マイクログリッド」について、県内で実証事業を展開すべきではないか。</p> <p>(3) 沖縄県に再生可能エネルギーの実証実験等の専門人材を配置すべく、国と連携してさらに各種の再生可能エネルギー事業の展開を推進すべきではないか。</p> <p>4 文化財調査について</p> <p>(1) 返還が合意された米軍基地における文化財発掘調査は時間と費用がかかることが見込まれる。とりわけ市町村の文化財行政の現場における専門的人材不足が課題となっている。大規模返還を見据えた文化財発掘調査に向けた財団の設立が必要ではないか。</p> <p>5 首里城由来の資料について</p> <p>(1) 美ら島財団は首里城由来の資料を多数保有しており、これらの展示は首里城に近接させた場所が望ましい。今、建設を予定している資料館は、首里城に近接しているのか。中城御殿跡の整備等と連携させるべきではないか。</p>			

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	20分	又吉 清義(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 西普天間地区返還について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 現時点の進捗状況並びに最終返還面積について(2) 地主にスムーズに返還するに当たり予測される諸問題等や解決策について(3) 返還予定地の開発計画の今後の進捗状況と国、県、市の協力体制について <p>2 基地問題を解決するために英断した仲井眞知事の埋立承認による21世紀の沖縄像。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 基地問題を抱える市町村の解決策に向けた明るい変化や今後どのような事柄が期待できると予想されるか。 <p>3 MICEの進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) MICEの候補地選定に考慮される諸条件とはどのような事柄か。(2) 現在候補地として名乗り、誘致を意思表示している市町村は。(3) コンベンションエリアと併合することにより、より一層の経済効果、コスト削減等も図れると解するが。 <p>4 中部流域下水道(伊佐浜処理区)について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 処理施設の改良、移設、増設の進捗状況について(2) 上記の改良工事に伴い、生み出すことができる、緩衝緑地帯とはどのような施設で、その面積はどのくらい予想されるか。(3) 緩衝緑地帯についての整備計画、活用計画等はどのようになっているのか、また、地元宜野湾市との協議、打ち合わせはどのように取り組んでおられるか。 <p>5 県庁舎管理のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県庁1階のロビーでの禁止行為にはどのような行為があるのか。(2) 禁止行為に違反した場合にはどのような手順で警告、勧告等を行うのか。(3) 去る12月27日の行為に対して、管理上どのように取り組んだのか。また、メディアでは一切報道されない弱者の多くの県民に多大な迷惑をかけたと解釈するが、その現状は把握しておられるか。 <p>6 県営大謝名団地の建てかえ工事について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 着工から完了までの工程について(2) 住民説明会並びに、要望等についての取り組みは。(3) 児童館、保育所、または当地への公共施設の誘致について宜野湾市との協議の進捗状況は。 <p>7 沖縄振興特別推進交付金のソフト事業262事業について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県民の福祉、経済の発展に向け、より一層貢献するための手法、取り組み等について <p>8 国道330号拡張工事に伴う県立中部商業高校前バス停の現状について</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
6	20分	具志堅 透(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 農林水産業の振興について</p> <p>(1) 農林水産物流通条件不利性解消事業について</p> <p>ア 事業の成果と課題について伺います。</p> <p>イ 追加品目に対する県の要望についての見通しについて伺います。</p> <p>(2) 6次産業化支援について</p> <p>ア 支援事業が県に移行されていると思うが、それによって事業がどう変わるか。(6次産業化ネットワーク活動交付金)</p> <p>イ 2分の1補助では事業化が困難である。県の支援がないか伺います。</p> <p>2 観光振興(観光地の整備)について</p> <p>(1) 恩納村の万座毛の整備が必要と思うが、計画がないか伺います。(年間85万人)</p> <p>(2) 国頭村辺戸岬の整備について(年間40万人)</p> <p>ア 県が計画しているビジターセンターの進捗について伺います。</p> <p>イ 国頭村の復帰資料館の建設構想があるようだが、ビジターセンターに組み入れることはできないか。</p> <p>3 医療、福祉行政について</p> <p>(1) 視覚障害者向けの盲特養・盲養護老人ホームについて</p> <p>全国で未設置は沖縄県を含む4県となっている。</p> <p>ア 必要性について県の認識について伺います。</p> <p>イ 東村における老人福祉施設について(視覚障害者対象)県の支援について伺います。</p> <p>(2) 市町村国保会計の健全な運営についてどのように考えているか伺います。2012年度県内39市町村で赤字計上、金額98億8900万円。</p> <p>(3) 第6次の県保健医療計画に基づく県立北部病院と北部地区医師会病院の病床を活用した新たな基幹病院構想について</p> <p>ア 進捗状況と今後の課題について伺います。</p> <p>4 自然環境について</p> <p>(1) 知事の提案説明要旨で述べられている「自然環境再生指針(仮称)」について具体的内容を伺います。</p> <p>(2) 「赤土等流出防止対策基本計画」策定後の行動計画等について伺います。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成26年第2回沖縄県議会(定例会)

03月05日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	20分	新垣 哲司(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 米軍基地問題について</p> <p>ア 公約違反について 知事公約である「県外移設を求める。」ことについて、多くの県民が日米両政府による辺野古移設案を拒否するものと受けとめ、埋立申請を承認したことは公約違反と認識していることについてどのように考えているか。</p> <p>イ 5年以内運用停止について 日米において交渉が行われるめどがない中で、沖縄だけが「5年以内運用停止」を主張しても、ひとり相撲、空手形となるのではないか。</p> <p>ウ リンク論について 昨年末の総理との会談において、知事は振興策への成果を評価し、最大級の賛辞を送った。これを踏まえて埋立申請への承認が行われたものであり、知事の行為はこれまで主張していた基地と振興はリンクしないとの立場を否定するものと受けとめられていることについて、どのように認識しているか。</p> <p>エ 埋立申請について 今回の埋立申請において、県自身が環境への重大な影響を指摘し、また地元名護市長が反対意見を提出したにもかかわらず埋め立てを承認したことについて、多くの批判があるが、どのように考えるか。</p> <p>オ 地元自治体への対応について 代替施設建設の地元名護市は、稲嶺市長の就任以来、一貫して移設に反対してきた。さきの名護市長選挙において再度、反対の民意が示されたことについてどのように受けとめているか。</p> <p>カ 知事の辞職について 知事は公約違反の政治責任をとり、辞職して改めて県民に信を問うべきとの意見についてどのように考えているか。</p> <p>キ 政府の取り組みと知事公約について 現在の安倍政権の取り組みと知事の公約との関係をどのように認識しているか。</p> <p>2 県議会における100条調査権について</p> <p>(1) 県議会が調査できる範囲は県の事務となっているが、県(執行機関)に裁量権が委ねられた事項については、裁量権の逸脱、濫用と認められない限り100条調査の対象とはならない。</p> <p>(2) 今回の公有水面埋立法に基づく埋立承認の可否判断は知事の専権事項であり、県(執行機関)に裁量権が委ねられた事項であるため、裁量権の逸脱、濫用と認められない限り100条調査の対象とすべきでないと考えます。</p> <p>(3) そもそも100条調査権の目的は、地方公共団体の事務にかかわる範囲で起こった不祥事事件等に対し、その発生の原因究明と再発防止について調査することであり、今回の埋立承認事務が不祥事事件でないことは明白であり、執拗な執行権への介入事象ととられかねない。</p> <p>(4) 菅官房長官の証人喚問について</p> <p>ア 証人喚問の対象者は、当該百条委員会が調査の対象に関係を有すると判断すれば対象として取り扱われるが、今回の埋立承認手続について事務的なつながりが無い菅官</p>			

房長官が関係を有するとされるのは疑義があり、調査権の濫用とも受けとられる。何をもって関係を有するのか慎重な検討が必要と思われる。

イ 官房長官は国政に対し重大な責任を有しており、常に在京していることが求められている。官房長官をみだりに証人として呼び出すことは国政運営に大きな影響を与えるものであり、地方議会としては控えるべきである。

3 政府が検討している米軍基地刑事特別法について

4 我が党の代表質問との関連について